

# 施工例紹介



## 猫と飼い主の「きもち」にこたえる家づくり

★愛猫家住宅を叶える

- 秘訣① 十分な遊びスペースの確保
- 秘訣② 移動しやすい、居場所も多い
- 秘訣③ 滑りにくい床材
- 秘訣④ 傷つけられにくい環境づくり
- 秘訣⑤ 消臭床と消臭壁を採用

② 愛猫が自由に移動できる工夫を  
猫の健康のためには「室温管理」が重要。  
夏の熱中症リスクと冬の寒さのストレスから守る  
ために、ドアを締め切った状態でエアコンを  
つけっぱなしにするご家庭もタリはす。部屋と部屋を  
移動できる「猫ドア」や「猫通路」を設置すれば、気温  
の変化に敏感な愛猫が自身で好みの温度を探して  
移動ができ、猫自身の快適性がグンとUPします。



④ 爪とぎで予防、傷つきにくい素材を採用



壁面に備え付けられた、麻縄を巻き付けた愛猫のための爪とぎ場

猫は爪のメンテナンス・マーキング・リフレッシュを目的として爪とぎを行います。市販の爪とぎを設置することもできますが、住宅の一部を爪とぎ場にする方法も。爪とぎをして、もよい場所をあらかじめ用意してあげることで、飼い主さんを悩ませる住宅の損傷を予防。また傷がつきにくい床材を取り入れるのもおすすめです。

① 愛猫に十分な運動スペースを

完全室内飼育が一般的になった今、猫たちにとってただ家にいさせるだけでなく「猫に適した生活環境を用意すること」が大切。糸の運動を得意とする愛猫のために、壁面や天井を使った遊びの場を取り入れることは、運動不足の解消や肥満防止、ストレス対策にもつながります。



③ 滑りにくい床材を使いましょう

歩行時は爪を収納することができる猫は、犬に比べると滑る心配が少なく考えられていますが、遊んで駆け回った時などはフローリングで滑ることも。高所が得意な猫ですが、意外と落下による骨折もあるため、フッ素性の高い床材はけが防止にもつながります。また、飛び降りる時に出る音も、軽減されます。

⑤ 消臭床・消臭壁にしましょう

猫にとってトイレの環境は健康と精神面を左右する重要な場所。また飼い主さんにとっても頻繁に掃除や健康チェックを行う場所になるため、臭いや汚れへの対策が必要となります。トイレを設置する壁や床にあらかじめ消臭効果のある床材・壁紙を取り入れることが効果的です。

×の猫Point

前足を器用に使うことのできる猫でも、「握ってひねる」という動作はできないため、立ち入りNG場所のドアノブを「磨り玉」にすると開けられる心配はありません。

